

## 25. 総務部総務課図書室

図書室長（総務課長併任） 勝又 勝行

編集委員長

倉根 一郎

### 概要

図書室では、図書係が研究資料の収集管理提供サービス全般を、編集翻訳係が機関誌 JJID (Japanese Journal of Infectious Diseases) の編集発行を行っている。

#### [図書係]

平成 22 年度の資料受け入れ状況は、雑誌 431 タイトル（うち購読 181 タイトル）、単行本 343 冊（うち購入 217 冊）であった。

文献の相互貸借状況は、供与 571 件、依頼 1320 件であった。依頼は年々増加の傾向にあるが、特に平成 20～22 年度にかけて、外部機関のうち厚労省や農水省の協力研究機関への依頼件数の増加が、161 件→363 件→536 件と顕著であった。（下記表参照）

平成 22 年度は、購読する外国雑誌について 3 年に 1 度行っているタイトル見直しの年であった。前年度、図書委員会にて合意を得た選定基本方針に基づいて必要な雑誌を厳選し、戸山 105 誌、村山 31 誌、ハンセン研 9 誌を契約した。

見直しの際、外国雑誌は利便性の高い電子ジャーナル契約の要望が多く、購読タイトルのうち約 7 割は三庁舎で利用できるマルチサイト契約を行った。

研究者の発表論文の散逸を防ぐため、試行として図書室で著者最終稿を収集保存することとなりご協力をお願いした。

文献相互 貸借状況	平成20年度		平成21年度		平成22年度	
	供与	依頼	供与	依頼	供与	依頼
総 数	745	751	667	1185	571	1320
三庁舎間	137	137	180	180	152	152
外部機関	608	614	487	1005	419	1168
協力研究機関	585	161	451	363	343	536
国公立大学/機関	12	397	26	558	52	550
私立大学/機関	11	56	10	84	24	82

#### [編集翻訳係]

平成 22 年度は vol. 63 no. 1-6 を刊行し、JJID ホームページにも全論文の PDF ファイルを載せた。Supplement vol. 62 を発行し PDF ファイルでも公開した。

本年度の編集委員の交代は、宮村達男、山本直樹が退官し、竹田 誠、大西 真、西條政幸、俣野哲朗が加わった。編集方針に変更はない。

国立機関発行の論文誌としてその規程にもあるように「国内外の研究者に感染症に関する研究を発表する機会を供する」役割を担っている。通常の peer review 誌では評価されない論文でも JJID 独自の審査基準を設けている。例えば、発展途上国や地域などの感染症情報等ほかのジャーナルで発表され難い場合でも公衆衛生や疫学情報の視点を重視し掲載の道を考慮する。またホームページに掲載している論文は広く、公平に閲覧できるようにアクセスを限定せずその容量も小さくおさえている。投稿数の増加、impact factor の上昇、アクセスログ数の増加などからこのような編集方針が認知されてきたと考えられる。

第 20 回感染研シンポジウムの演者及び 22 年 3 月 31 日をもって退官した方々に review を投稿して頂くようお願いした。

今年度の概略は以下の通りである。

発行頁数（掲載論文数） no. 1/81 頁(19編)、2/74(21)、3/67(18)、4/81(20)、5/79(21)、6/75(14)

発行部数 710→690 部

発送先 国内—大学、衛研等 約 190 機関  
海外—大学、研究所等 約 350 機関  
(約 75 カ国)

投稿論文数 感染研内 25 編  
国内 62 編  
海外 142 編 (21 カ国)

採択率 41%